



いずみこども園
ホームページ
QRコード

令和7年1月31日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

「 バトンを次へ 」

副園長 村田 靖孝

もうすぐ節分です。今年の節分は2月2日で、4年ぶりのことです。来年は2月3日になりますが、しばらくは4年ごとに2月2日が節分になるようです。厄除けとなるイワシの頭やヒイラギの飾りを、園児・保護者・地域の方が健康に過ごせるよう、園内にも飾ります。こども園では、子どもたちが伝統行事に触れることで、長い歴史の中で育まれてきた文化や伝統の豊かさを感じてほしいとともに、由来を聞きそこに込められている人々の願いや思いに気付いてほしいと願います。各クラスでは、子どもたちが作った鬼の面が飾られ、出番を待っています。

今まで5歳児ゆり組の子どもたちが担っていたあいさつ隊やお休み調べを、4歳児ばら組に引き継いでいます。担任の投げ掛けから「、どうやって教えてあげようか？」と子どもたち同士が玄関ホールでつぶやきながら、自分より小さい子どもへの関わり方を考え、実践しようとしています。

こども園の中で一番年上の子どもたちは、とても誇らしい気持ちで、文字通り手取り足取り教えています。あいさつ隊では「(手をピンと伸ばして)こうやって立つんだよ」「後ろに寄りかかったらダメだよ」「元気よくすると素敵だよ」と。お休み調べでは、『失礼します。』と言って入るんだよ」「もも組お休み〇人です。まだわからない人は〇人です」といったように。今ここでしか感じられないこと、成長することがたくさんあります。教えながら当番活動をしている様子は、自分たちだけで行う時より背筋が伸びていました。自分より一つ小さい友達に、優しくいろいろなことを教えてあげようとする心もちが伝わります。

一方でばら組の子どもたちは、憧れの眼差しでゆり組の子どもたちを見ながら素直に教えてもらっています。そのような中で、もうすぐ一つ大きくなることへの自覚と期待感がさらに膨らんでいくことでしょう。

もも組は、いよいよ「もも組シアター」に向けた活動が始まりました。日常の遊びの延長で、遊びが盛り上がってきたというところでしょうか。身近な絵本を題材に表現遊びや楽器に触れて遊んでいます。12月にばら組・ゆり組のポケットシアターを見た経験から、今度は自分たちの表現遊びを楽しんでいます。子どもたちが伸び伸びと表現し、春の息吹のような輝きを見せてくれることを期待しています。

明日から2月。今年度残りの2か月も、充実した日々を過ごせるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

